

三重とこわか国体・三重とこわか大会について

- 1 8/14時点における三重とこわか国体の開催可否及び観客対応の検討結果
- 2 8/14以降の状況変化を受けた本県の認識
- 3 8/14以降の全国、本県の感染拡大状況
- 4 両大会の開催可否にかかる本県の考え方

令和3年8月27日



1 8/14時点における三重とこわか国体の開催可否及び観客対応の検討結果

- 医療提供体制に負荷をかけないよう、人流を抑制するため国体競技会を一律無観客
- 追加の感染症対策を緊急実施することで、会期前実施競技は開催、会期中の競技については、改めて9月4日時点に開催可否を判断

【検討結果】

- 基本方針における、開催可否検討のための基本的な考え方に沿って検討
- ・緊急事態宣言や三重県のまん延防止等重点措置の決定といった厳しい状況にあるものの、イベントの開催自粛までには至っていない
 - ・都道府県の参加申し込み状況や選手選考が予定どおり行われている
 - ・運営上、必要不可欠な人員(競技役員、競技補助員、ボランティア)等が確保できている
 - ・市町や競技団体に意向を確認したところ、「開催したい。安全・安心に開催するためには無観客とすることはやむを得ない」との意見
 - ・インターハイや全国高等学校野球大会等、大規模大会が開催されている
 - ・「三重県内医療機関の新型コロナウイルス感染症受け入れが対応不可となる恐れがある場合」など、判断する指標・水準について、いずれの指標も基準を超過しているものの、追加の緊急対策を実施していくことで、かろうじて開催余地が残されている

2 8/14以降の状況変化を受けた本県の認識

- 8/14以降の一週間において、新型コロナの脅威的、爆発的な感染拡大が、三重県のみならず、全国を襲う
- 感染のピークがいまだ見えない状況

「県民の皆さんの命が第一」にした対応が必要

- 選手や競技団体から不安の声が出始めている

一番頑張ってもらいたい選手自身が、不安を抱えながら、思いきれない、また、心からの応援をしていただけない環境に選手を置いてしまうことは避けたい
大会運営を支える競技補助員として参加する、未来を担う中高校生(約1.7万人)の命や健康を守らなければいけない

- 現在でも厳しい医療提供体制が、今後さらに厳しくなっていく恐れがあり、追加対策をとってもなお、医療提供体制への負荷が増大すると予想

県民の皆さんの救える命を救えないということになってはならない

3 8/14以降の全国、本県の感染拡大状況①

- 8/14以降、新型コロナの脅威的、爆発的な感染拡大が三重県、全国を襲う
- 感染のピークがいまだ見えない状況
- 現在でも厳しい医療提供体制が、今後さらに厳しくなっていく恐れ

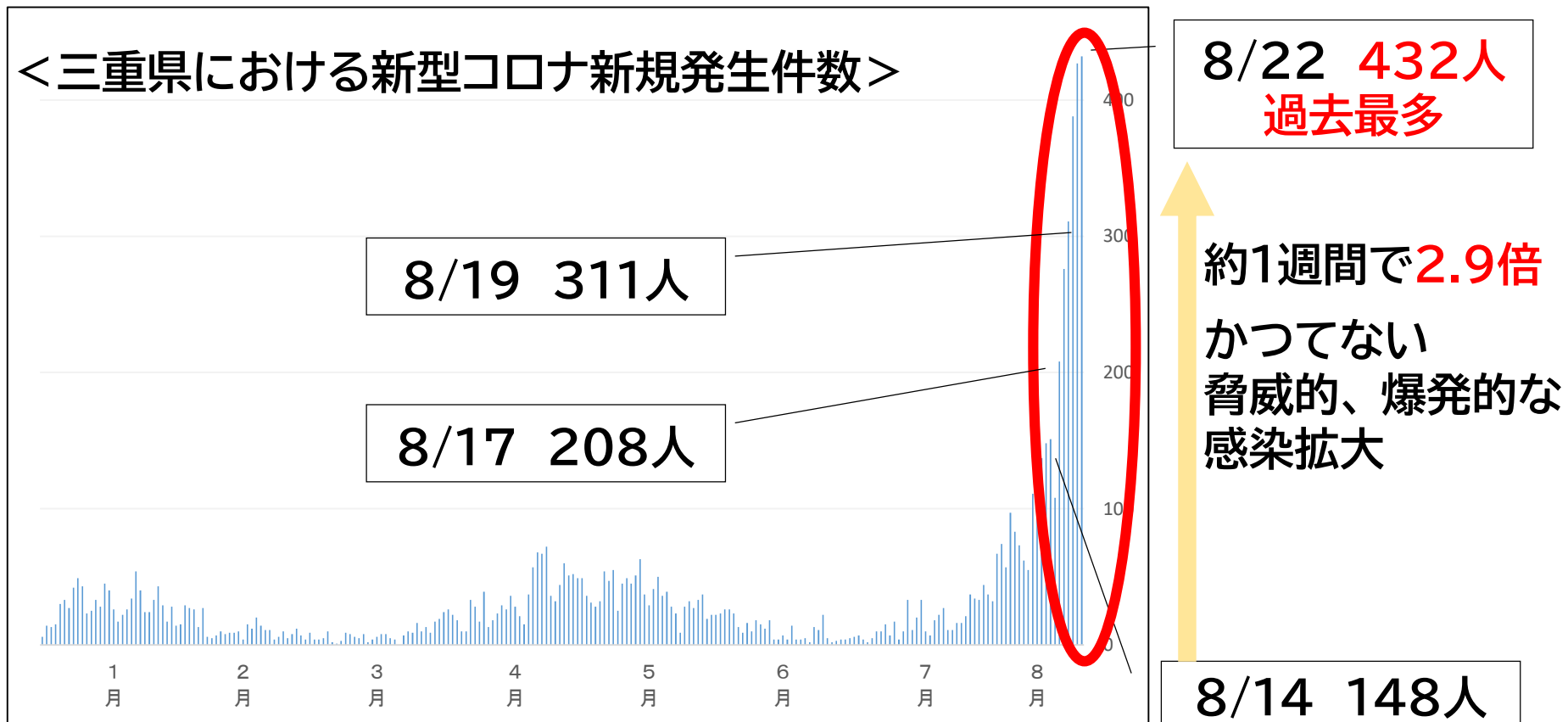
- ・8/14時点で19都道府県に発令されていた緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が29都道府県に拡大

	8/14	8/20
緊急事態宣言	東京、埼玉、千葉、神奈川、大阪、沖縄	東京、埼玉、茨城、栃木、群馬、千葉、神奈川、静岡、大阪、京都、兵庫、福岡、沖縄
まん延防止等重点措置	北海道、福島、茨城、栃木、群馬、静岡、石川、愛知、滋賀、京都、兵庫、福岡、熊本	北海道、宮城、福島、山梨、富山、石川、愛知、岐阜、 三重 、滋賀、岡山、広島、香川、愛媛、熊本、鹿児島
	19都道府県に発令	→ 29都道府県に発令

- ・愛知(8/20)、岐阜(8/22)、三重(8/21)は緊急事態宣言の発令を要請
- ・全国知事会が、緊急事態宣言又はまん延防止等重点措置の全国的な発令を提言
- ・8/25に北海道や愛知、岐阜、三重などに緊急事態宣言が、また、新たに、高知、佐賀、長崎、宮崎にまん延防止等重点措置が追加 → **33**都道府県に拡大

3 8/14以降の全国、本県の感染拡大状況②

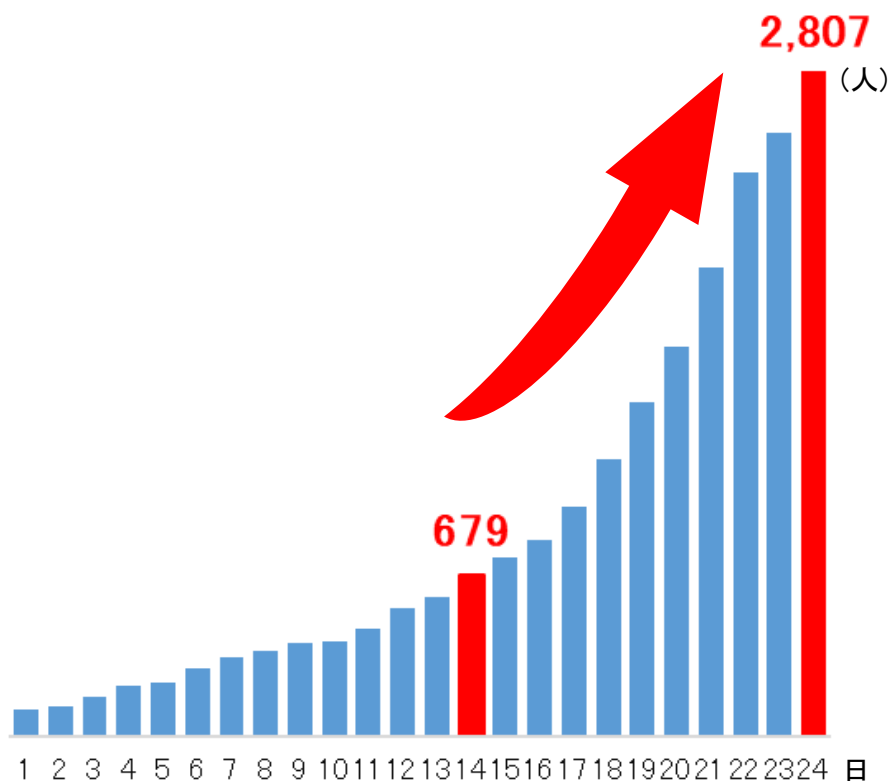
<三重県における新型コロナ新規発生件数>



3 8/14以降の全国、本県の感染拡大状況③

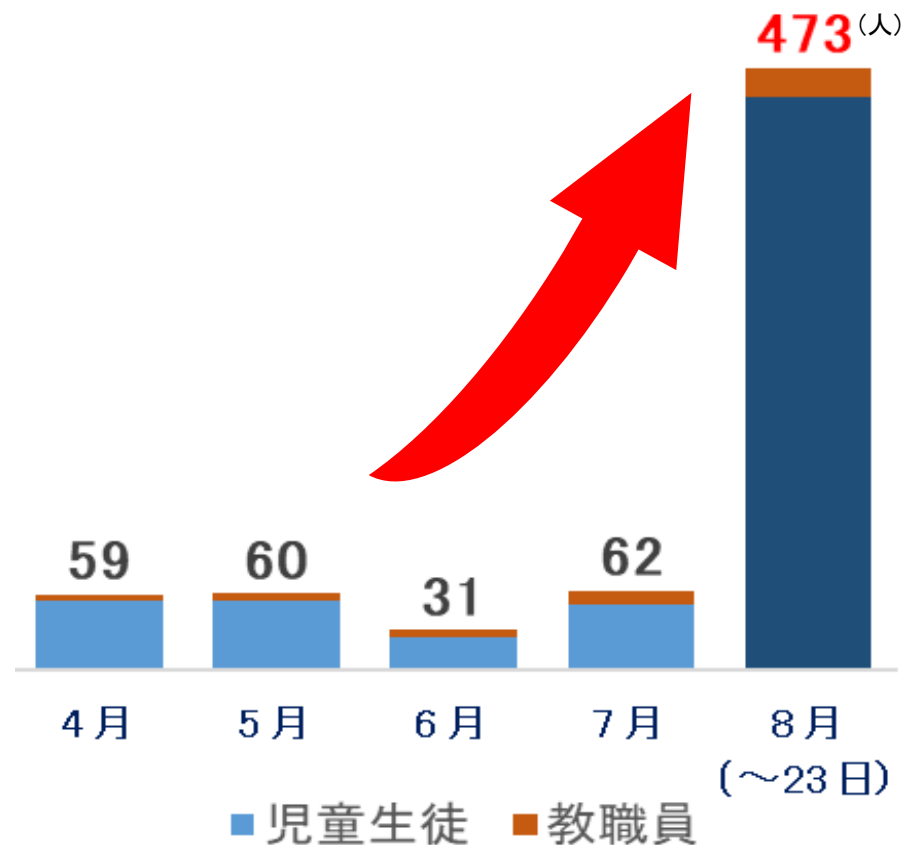
<入院調整・自宅療養者数>

- ・感染者数の爆発的な増加に伴い、入院調整・自宅療養者の数も急増
- ・14日からの10日間で4.1倍



<県内公立学校の感染状況>

- ・8月に入り急増(473人、**20.5人/日**)
- ・19日は**50人**、20日は**56人**
- ・高校での部活動クラスター(2件)発生※私立学校含む



- ・全国でも入院先が見つからず、自宅療養者に亡くられる事例が多数発生
- ・他県では妊婦のお子様亡くられる痛ましい事例も

4 両大会の開催可否にかかる本県の考え方

県民の皆さんの命にかわるものはない、
県民の皆さんの命を守り抜くことが最優先

両大会を目指し10年間、努力し成長を遂げてきた選手、
選手を支え続けた指導者、保護者の皆さんのことを思うと、
断腸の思い、苦渋の決断

8/25 主催4者による協議を実施
三重とこわか国体・三重とこわか大会の中止に合意

8/26 日本スポーツ協会 国体委員会において正式決定

延期の可否・要否については、国体開催基準要項に基づきながら、市町、競技団体、関係者の意見を伺いつつ方向性を決め対応